

保証書

リフトマン

LM-400II

製造番号

御買上げ日： 年 月 日

| | |
|------|---|
| お名前 | |
| ご住所 | |
| 電話番号 | |
| 販売店名 | 印 |

保証について

- 1、販売店様印、お客様の欄にご記入のない場合は「無効」になります。
- 2、「正常なご使用状態」において発生した故障については、御買上げ日より 満1年間の保証をさせていただきます。
- 3、次の場合は、保証期間中でも「有償修理」とさせていただきます。
 - ◎使用上の誤り。
 - ◎改造された場合の故障。
 - ◎納品後の移動、輸送によって生じた損傷や故障。
 - ◎火災、地震、水害などの天災による損傷や故障。
 - ◎その他、上記に準ずるもの。
- 4、本保証書は日本国内で本機をご使用の場合に限り有効です。

送り先・お問い合わせ先

KYDEN キシデン工業株式会社

メンテナンスサービス

〒121-0836 東京都足立区入谷7-18-29

TEL 03-3899-4281 FAX 03-3899-6882

<http://www.kishiden.co.jp/>

- 7 -

KYDEN
SAFETY & DESIGN

リフトマン

少ない人手、少ない時間で
大きな仕事

LM-400II

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。



KYDEN

キシデン工業株式会社

本社・工場

〒121-0836 東京都足立区入谷7-18-29

TEL 03-3899-4281 FAX 03-3899-6882

<http://www.kishiden.co.jp/>

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。安全に効率よく作業して頂く為に、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。適切な取扱いと保守をして頂き、末長くご愛用下さるようお願い申し上げます。

目次

| | | | |
|-----------|-------|-------|-------|
| 禁止事項／注意事項 | 1 P | 設置と作業 | 5・6 P |
| 仕様表 | 2 P | 保証書 | 7 P |
| 各部の名称と説明 | 3・4 P | | |

禁止事項／注意事項



- 水や油、動物等の重心の移動するもの、安定しない形状物は絶対に乗せないでください。落下の原因です。
- 人は絶対に乗せないで下さい。荷物専用です。
- 積載重量はオーバーしない下さい。転倒し事故になります。
- 上下するリフトシリンダーにひもや針金等で縛らないで下さい。シリンダーが動いたときに転倒します。
- 上下するリフトシリンダーには触れないで下さい。皮膚が巻き込まれたりして転倒し事故になります。
- 荷の重心を必ず確認し、その重心がリフトのセンターに乗るようにして下さい。転倒落下し事故になります。
- 荷を乗せたまま移動しないでください。転倒し事故になります。
- 設置する床や地面はしっかりした平らな所で4本支持が出来る場所にして下さい。転倒し事故になります。
- 風のある場所や揺れる場所での作業は中止して下さい。バランスを狂わし転倒事故になります。



- このリフトのことをよく理解している人が操作を行って下さい。説明書をよく読んでから作業して下さい。
- スイッチをコントロールしてゆっくり荷を上下させて下さい。
- 大きく広い面積の荷を乗せないで下さい。バランスを狂わし転倒事故になります。
- テーブルロックピン、アームストッパー、車輪ロック、車輪ストッパー等必ず行って下さい。
- 伸長止めチェーン、スイッチホースのからまりが無いことを確認して下さい。
- エア一式ですので伸長止めチェーンをしないうまま荷下ろしをするとホッピングして危険です。必ず伸長止めチェーンをして下さい。



- エアホースはリフトシリンダーが全部下がった状態ではずして下さい。伸びた状態のままはずさないで下さい。
- リフトががたつく、異音がでる、スムーズに動かない等の場合は下降させ、原因を究明、解決して下さい。
- シリンダーを傷付けたり、オイルや液体を付着させたり汚さないで下さい。正常動作しなくなります。
- 砂や粉、粉塵等のある場所でのご使用はなるべく避けて下さい。
- 据付け、保守点検、修理はエアホースをはずして行って下さい。
- リフトシリンダーの動きがスムーズでなくなった場合は、オイルの交換・補充をして下さい。オイルの交換・補充は13mmの工具にてパッキン付ボルトを取り外し行ってください。オイル補充量は約50ccです。
- この注意と取扱説明を良く読んで正しくお使い下さい。

- 1 -

仕様

| 型 式 | LM-400II |
|-------------|------------------|
| 最大積載荷重 | 150kg |
| テーブル最高位 | 約4.0m |
| テーブル最低位 | 約90cm |
| テーブル寸法 | 450×720×15mm |
| スイッチホース | 4.0m |
| 伸長止チェーン | 4.0m |
| スタンドアーム | 対辺115cm(対角165cm) |
| 車 輪 | 100φストッパー付 |
| 車輪アジャスター | 調整範囲30mm |
| 車 輪 ロ ッ ク | 付 |
| 本 体 重 量 | 約32kg |
| 荷降シリンダー気圧 | 150kg約8気圧 |
| 適応コンプレッサー気圧 | 5～8気圧 |

製品は改良によって変更される場合があります。

オプション

オプションについてはお問い合わせください。



OP-L4
ボードアップ
(K-BU II)



OP-L1 荷揚げ天板



OP-L5
エアースイッチホース
(3m, 3.5m, 4.0m)

ボンベホルダー
適用ボンベ
炭酸ガス: 7.5kg、外径140、全長950mm



STA-98

1～8kg/cm²

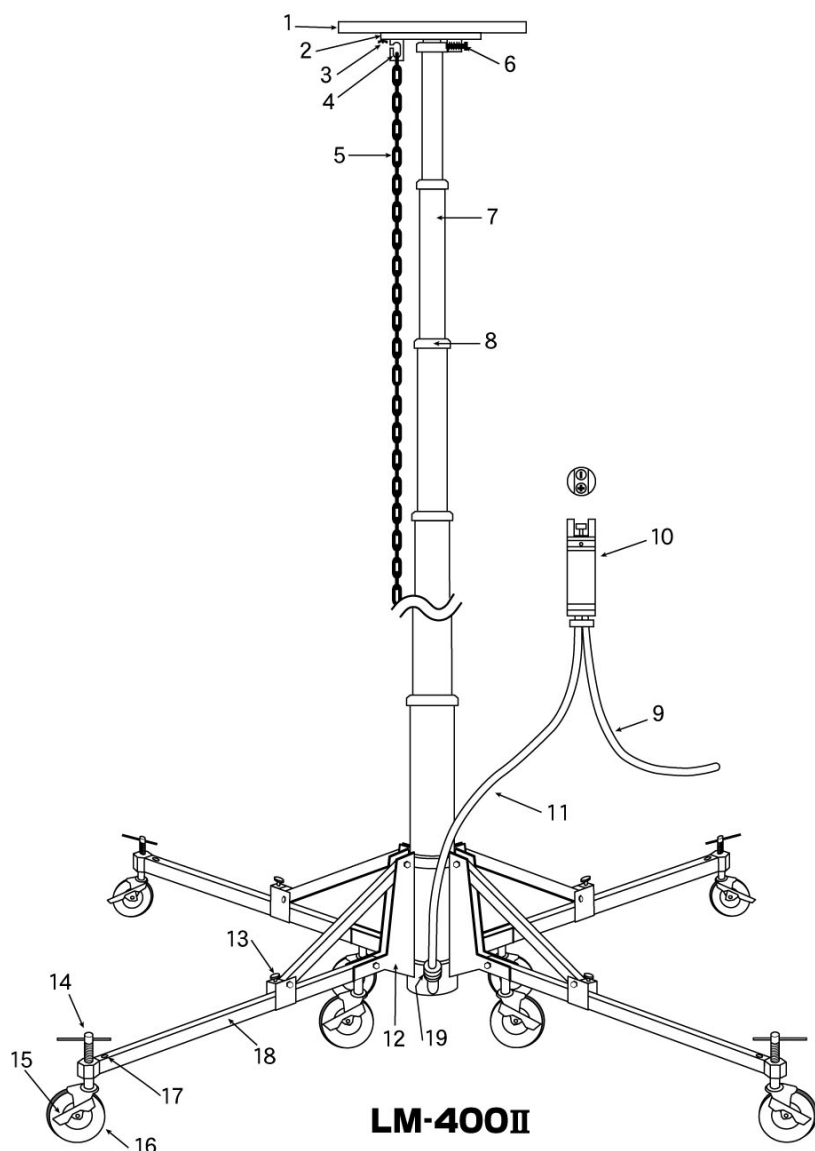
100V電源

重量20kg

12リットルタンク

- 2 -

各部の名称と説明



- 3 -

1. テーブル板
この上に荷を乗せます。この他にボード用のボードアップがあります。
2. テーブル受金具
この上にテーブルをのせて広い面積を確保します。
3. テーブル受蝶ネジ
テーブルと受金具をこの蝶ネジでネジ閉めます。
4. チェーンフック
伸長止チェーンをここに掛けます。
5. 伸長止チェーン
テーブルの高さを一定に保ち、荷を下ろした時のホッピングを止めます。
6. テーブルロックピン
テーブルと本体をしっかりロックさせます。
7. リフトシリンダー
このシリンダーが空気圧によって上下します。
圧力抜け原因のキズ、へこみを付けないように注意して下さい。
8. フランジ
9. オレンジスイッチホース(コンプレッサーへ)
スイッチをこのエアホースでリフコンへつなぎます。
10. スイッチバルブ
この押しボタンの⊕で上に⊖で下がります。押し方で速度を調節します。
11. グリーンスイッチホース
スイッチをこのエアホースで本体へつなぎます。
12. アーム支持金具
本体とアームを連結します。
13. アームストッパー
アームの収納と設置をこのストッパーで固定します。
14. 車輪アジャスター
設置する場所に合わせて車輪を上下させしっかり固定します。
15. 車輪ストッパー
作業中はロックさせ移動では解除しスムーズ移動が出来ます。
16. 車輪
17. アームストッパー穴
このストッパー穴で車輪の収納設置を固定します。
18. スタンドアーム
設置の時は広げて安定させます。
19. 入力カプラ
本体とエアホース、スイッチをつなぎます。
(反対側にはオイル交換・補充用パッキン付ボルトがあります。)

- 4 -

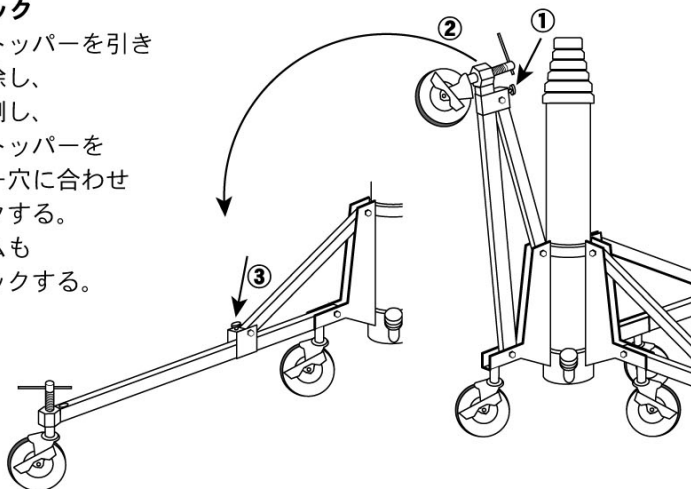
設置と作業

1. 設置場所

作業するのに十分な広さと地面、床が平らで堅い設置場所を選びます。エアホースとスイッチホースの接続がゆとりのあることを確認する。

2. アームのロック

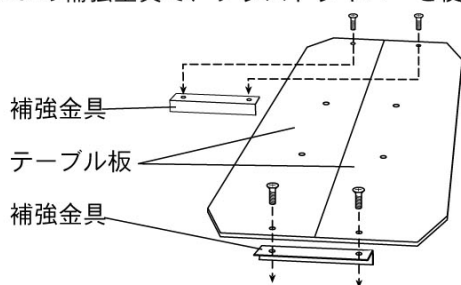
- ①アームストッパーを引き
ロック解除し、
- ②アームを倒し、
- ③アームストッパーを
ストッパー穴に合わせ
再びロックする。
- ④他のアームも
同様にロックする。



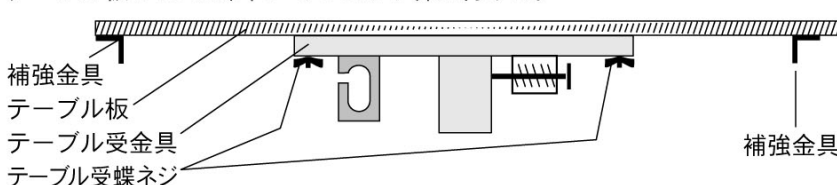
3. テーブルの組み立て

2枚に分かれているテーブル板を2つの補強金具で、プラスドライバーを使いネジでしっかり締め付ける。

※補強金具は必ず取付けてご使用下さい。
補強金具無しのご使用は破損する場合があります。



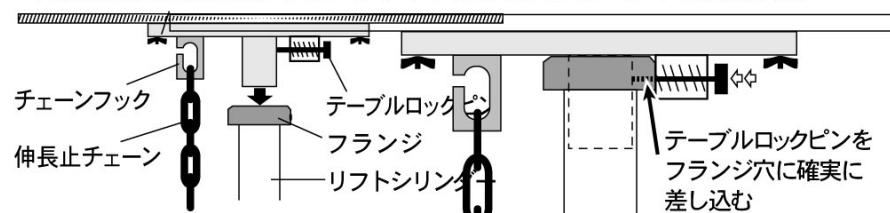
テーブル板を4つの蝶ネジでしっかり締め付ける。



- 5 -

4. テーブル、伸長止チェーンの装着 (荷下ろしの際は必ず行う!)

テーブル受金具をシリンダーに差し込み、テーブルロックピンをフランジ穴に確実に差し込む。チェーンフックに伸長止チェーンの端を掛ける。



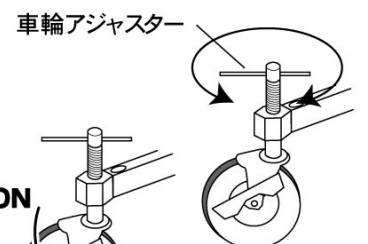
5. スイッチホースの接続

スイッチホースのグリーンを本体に、オレンジをコンプレッサー等に接続する。★反対に接続すると危険です。



6. 水平の確認、車輪の高さ調整

車輪アジャスターを回して上下調整する。
全車輪ストッパーのONを確認する。
ぐらつきが無いかな再度確認をする。



7. 車輪のストッパー

車輪ストッパーをONにする。
他の車輪も同様にロックする。

ロックON

8. リフトを伸ばし垂直を確認

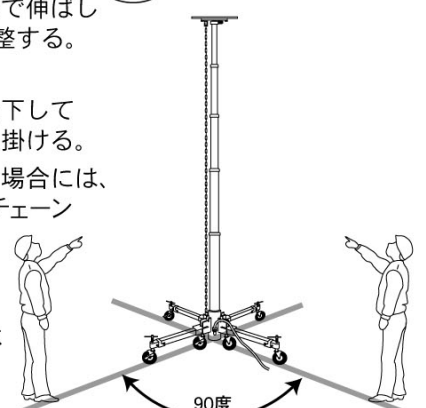
スイッチの+ボタンを押して最高位まで伸ばし90度の2方向から眺め垂直を確認。修整する。

9. 伸長止チェーンと高さの決定

テーブルの位置を作業目的位置まで上下して決定し、伸長止めチェーンをフックに掛ける。

★機器を取外しこのリフトで支え下ろす場合には、テーブルが機器に触れる直前で止め、チェーンを掛け再び加圧し、機器の取外し作業をして下さい。
(ホッピング作用を軽減)

★荷下ろし作業の場合、伸長止チェーンは必ず使用して下さい。
ホッピング作用が有り危険です。



- 6 -